

1 業 務 量

(1)電気事業会計

	29年度	前年度増減	対前年度 増加率	備 考
販売電力量	千kWh 406,400	千kWh 74,188	% 22.3	・水力発電について、神室発電所が 運転を開始し、また、梅雨前線や台風 の影響で雨量が多く、河川流量が増 加したことにより、販売電力量及び料 金収入が増加した。
料金収入	千円 5,444,415	千円 657,283	% 13.7	

(2)工業用水道事業会計

	29年度	前年度増減	対前年度 増加率	備 考
給水量	千m ³ 14,207	千m ³ 18	% 0.1	・給水企業52社58事業所(1社1事業 所増) ・新規企業への給水開始等により酒 田及び福田地区では給水量及び料 金収入が増加したが、八幡原地区で は契約水量の減少があったため、全 体としては給水量及び料金収入とも に微増となった。
料金収入	千円 429,761	千円 1,367	% 0.3	

(3)公営企業資産運用事業会計

	29年度	前年度増減	対前年度 増加率	備 考
県営駐車場 駐車台数	台 112,259	台 755	% 0.7	・指定管理者：(株)ヤマコー ・定期駐車券の利用者が増加したこと により、駐車台数が増加した。 ・指定管理者：(株)山形ゴルフ倶楽部 ・11月の降雪により営業日数が217日 (▲21日)となったものの、利用者数が 初めて3万人を突破した。
県民ゴルフ場 利用者数	人 30,630	人 651	% 2.2	

(4)水道用水供給事業会計

	29年度	前年度増減	対前年度 増加率	備 考
給水量	千m ³ 77,011	千m ³ 1,274	% 1.7	・前年度よりも積雪が多く、消雪等の ための使用水量が増加したことによ り、給水量及び料金収入が増加した。
料金収入	千円 6,007,523	千円 5,490	% 0.1	

(注1) 収入は消費税抜きで表記している。

(注2) 千円未満四捨五入のため、前年度増減において一致しない場合がある。

(注3) 対前年度増加率は円単位で比較した率である。

(電気事業会計の事業区分別明細)

	水力発電			太陽光発電		
	29年度	前年度増減	対前年度増加率	29年度	前年度増減	対前年度増加率
販売電力量	千kWh 405,154	千kWh 74,200	% 22.4	千kWh 1,246	千kWh ▲ 12	% ▲ 1.0
料金収入	千円 5,399,479	千円 657,710	% 13.9	千円 44,936	千円 ▲ 427	% ▲ 0.9
備考	・神室発電所が運転を開始し、また、梅雨前線や台風の影響で雨量が多く、河川流量が増加したことにより、販売電力量及び料金収入が増加した。			・日射量の減少により、販売電力量及び料金収入が減少した。		

(工業用水道事業会計の地区別明細)

	酒田			八幡原			福田		
	29年度	前年度増減	対前年度増加率	29年度	前年度増減	対前年度増加率	29年度	前年度増減	対前年度増加率
給水量	千m ³ 10,245	千m ³ 134	% 1.3	千m ³ 3,554	千m ³ ▲ 175	% ▲ 4.7	千m ³ 407	千m ³ 58	% 16.7
料金収入	千円 308,030	千円 4,391	% 1.4	千円 109,124	千円 ▲ 4,804	% ▲ 4.2	千円 12,608	千円 1,780	% 16.4
備考	・給水企業25社30事業所(1社1事業所増) ・新規企業への給水を開始したことにより、給水量及び料金収入が増加した。			・給水企業22社23事業所(増減なし) ・契約水量が減少したことにより、給水量及び料金収入が減少した。			・給水企業5社5事業所(増減なし) ・28年10月から給水を開始した新規企業が、通年で使用したことにより、給水量及び料金収入が増加した。		

(水道用水供給事業会計の地区別明細)

	置賜			村山		
	29年度	前年度増減	対前年度増加率	29年度	前年度増減	対前年度増加率
給水量	千m ³ 16,676	千m ³ 586	% 3.6	千m ³ 30,964	千m ³ 197	% 0.6
料金収入	千円 1,143,519	千円 4,205	% 0.4	千円 2,297,058	千円 1,567	% 0.1
備考	・前年度よりも積雪が多く、消雪等のための使用水量が増加したことにより、給水量及び料金収入が増加した。			・前年度よりも積雪が多く、消雪等のための使用水量が増加したことにより、給水量及び料金収入が増加した。		

	最上			庄内		
	29年度	前年度増減	対前年度増加率	29年度	前年度増減	対前年度増加率
給水量	千m ³ 5,663	千m ³ 45	% 0.8	千m ³ 23,708	千m ³ 446	% 1.9
料金収入	千円 434,221	千円 270	% 0.1	千円 2,132,725	千円 ▲ 552	% ▲ 0.1
備考	・前年度よりも積雪が多く、消雪等のための使用水量が増加したことにより、給水量及び料金収入が増加した。			・前年度よりも積雪が多く、消雪等のための使用水量が増加したことにより給水量が増加したものの、年間責任水量が前年度よりも減少したため、料金収入は微減となった。		